

神奈川県産植物の報告 (その2)

大 谷 茂*

New contributions to Florula Kanagawensis (2)

Shigeru OHTANI*

(with 2 Plates)

この報告は本誌前号 (1960) に引続くものである。(B) を除く他の大部分の標本は横須賀市博物館に収めてある。この報告に当り助言をうけた鈴木重隆氏、および標本を提供された城川四郎、佐宗守、出口長男、山田友久、石渡宏の諸氏ならびに資料を報告された松山庫三、林弥栄、田代信二、西尾和子、飯田和、佐藤晋、寺島浩一の諸氏に厚く謝意を表する。

A. この項のものは本県内では新たに発見せられたもので、神奈川県植物誌 (1958) に追加さるべきものである。

106. ミヤマシシガシラ

横浜市保土ケ谷区上川井 (出口長男 Nov. 20, 1952)

出口氏の採取品を見ると葉柄と中軸下部の裏面が暗紫褐色をしているし、またザラザラしていることと、sorus の外側につく辺縁はごくせまいので、本種であることは間違いない。横浜という分布上の疑問は多少あるが、本種採集地近隣には、ナチクジャク、オンダなども自生しているので、本種がないと断言はできない。とにかく出口氏の採取されたものは本種であり、本県のシダとしては珍しい。

107. ホッスガヤ

丹沢、玄倉 (佐宗 守 Sept. 22, 1958)

佐宗氏の採取したもので、花序は点頭し、包穎の長さは不同であり、芒は護穎の先端から出ているなど本種と同定した。

108. オオナルコユリ (一名 ヤマナルコユリ)

丹沢、姫次〜風巻 (城川四郎 Jun. 12, 1960)

この城川氏の採取品はナルコユリより全体が大形で、茎には稜角がある。葉は平滑で、ナルコユリのような下面脈上に細突起がないのでザラツクことはない。花梗はナルコユリのように分枝することではなく、本標本では葉腋に1本づつ花が垂下している。花はナルコユリよりも大きい。花糸は基部いくらか太く、細かい疣状の突起が疎在している。要するに本品は、葉は多少ナルコユリ式ではあるが、花および花のつき方はオオナルコユリである。

109. タカトリラン (新称)

横須賀市 鷹取山 (大谷 茂 Jul. 13, 1958)

本種は上記のところで採取以来、本誌上2回 (1956, 1960) にわたって報告してきたものであるが、本誌本号に新種のランとして発表してあるもので、その記録を参照されたい。

* Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan.

110. ハコネラン

丹沢, 松洞 (城川四郎 Jul. 17, 1960), 大室山 (田代信二 Jul. 17, 1960)

本種はコイチヨウランの属に入れるか, または *Hakoneaste* 属とされているものである。コイチヨウランの花は黄色の萼と白い唇弁であるのに比し, ハコネランは全体に美しい淡緑色をしている。しかし花の盛りには唇弁の褐紫斑はないが, 花期が過ぎたところより色が出てくる。またコイチヨウランによく似ているが唇弁の縁に明らかに鋸歯のあることがコイチヨウランとは異なっている。生育場所もコイチヨウランよりは低いところである。萼に3脈があり, また苞に歯牙がある。本種は箱根, 富士, 愛鷹に知られ, 前川先生は, これは東亜の東北部に発達したコイチヨウラン属が *Fossa Magna* 地域に分離したときに孤立してできた若い属であるとして *Hakoneaste* 属を新設されたものである。上記のところ, すなわち丹沢で松洞と大室山の2カ所から本種が発見されたことは, 丹沢が *Fossa Magna* の限界東部に位置するだけに分布上の問題が生じてくるわけで, 一つの研究課題ともなろう。丹沢は本種の新産地であるが, Type locality は箱根であって本県植物誌の目録に記録しなかったことは全くのミスである。

111. アオミヤマウズラ (一名 フナシミヤマウズラ)

丹沢, 風巻の頭 (西尾和子 Aug. 18, 1955)

本種はミヤマウズラの葉に白紋のないもので, ときおり見かけるものであるが, 本県の植物誌には記録されていなかった。

112. ナガバキソチドリ

丹沢, 松洞 (西尾和子 Jul. 24, 1959), 風巻岳 (成川四郎 Aug. 27, 1960)

本種は母種キソチドリの葉が線状長楕円形または倒披針形に傾いてきた一つの地方形である。母種のキソチドリが丹沢にあるかどうか, 確認はしていないが, 存在する可能性はある。本県植物誌にホソバノキソチドリが箱根だけあげてあるが, 丹沢にも明らかに自生している。

113. コバノトンボソウ

横須賀市, 大津 (山田友久 Jul. 2, 1951)

本種は上記のところで山田友久氏が採集した標本を著者が同定したもので, くわしいことは本誌本号三浦半島植物雑記を参照されたい。

114. シロバナヘビイチゴ

丹沢, 姫次岳 (城川四郎 Jun. 2, 1960)

本種の花は白色, 花の小梗に斜上毛がある。また花時雄蕊は心皮集団より長い。

115. ミヤマクマヤナギ

丹沢, 蛭ヶ岳 (城川四郎 Jul. 7, 1960)

本種は城川四郎氏の採取したもので, 花序は頂生で短かく, 葉は卵形または楕円形である。本種には蔓はでない。

116. イワカガミ

西丹沢, 下柵沢 (佐宗 守 May 3, 1960)

上記のところで採取した佐宗氏はヒメイワカガミとしていたが, これはイワカガミである。この標本を見ると葉は円心形で縁に凸頭の低い歯牙があり, 葉の先は円いし葉の基部がいくらか截形状をなす以外は, どうみてもイワカガミである。

117. ハナヒリノキ

丹沢, 蛭ヶ岳 (城川四郎 Jul. 17, 1960)

本種は葉の縁に毛があり, 葉の表面の脈はハコネハナヒリノキのようには, へこまない。花序は本年枝の先に出てぶらさがらず, 花は偏側について花数は多い。

118. シロバナコケリンドウ (新称)*

丹沢, 姫次 (城川四郎 May 8, 1960)

本種は上記のところで城川氏の採取したもので、コケリンドウの花色の白色のものである。相当広範囲に群生し、そこでは淡紫色花のものは一株も混生していない。新品種として発表する。

119. サカキカズラ

横須賀市, 猿島 (桧山庫三 April 1960)

本種が上記のところに発見されたことは分布上価値あることである。くわしいことは本誌本号三浦半島植物雑記を参照されたい。

120. ビロードクサギ

川崎市, 柿生 (鈴木重隆 Aug. 31, 1959)

本種は基本種に比し多毛のもので、上記のところ以外に本県では足柄下郡真鶴岬に多くみられる。

121. サンジャクバーベナ

横須賀市, 内川新田 (大谷 茂 Nov. 7, 1959)

本種は一名タチバーベナともいい、帰化植物である。くわしいことは本誌本号三浦半島植物雑記を参照されたい。

122. ヒロハヤマトウバナ

丹沢, 塔ヶ岳 (石渡 宏 Aug. 29, 1959)

上記のところで石渡氏の採取されたものは、葉は卵形で巾広く、萼に開出毛があるので著者は本種であると同定した。

123. ニッコウヒョウタンボク

丹沢, 姫次 (城川四郎 Jun. 5, 1960)

本種は城川氏が上記のところで、姫次のコエド沢尾根で採取したもので、枝は4稜形、葉は無毛で縁毛もないが、上面の細脈は著しい。花は白色である。

124. ミヤマヒゴタイ

丹沢, 蛭ヶ岳 (城川四郎 Aug. 16, 1960)

本種はヤハズヒゴダイの品種で、本品は5花ついており、花数はややさびしいが、他の性質はすべて本種に一致する。タンザワヒゴタイは通常翼がないが、本品は明らかに翼が出ている。またキントキヒゴタイは花時根葉が枯れるが、本品には根葉が残っている。

125. カンサイタンポポ

横須賀市, 久里浜 (大谷 茂 April 30, 1960)

上記地域におけるタンポポ属についての記録は本誌本号三浦半島植物雑記を参照されたい。

B. この項のものは、林弥栄博士の新たに発表 (1956, 1958) されたもののうちで、本県が原産地となっているものである。

126. ハコイヌブナ

津久井, 青根, 丹沢山 (林 弥栄 Jul. 15, 1956)

本変種は葉柄、葉裏ともに無毛であって、1殻斗内に3~5個の堅果がある。

* *Gentiana squarrosa* LEDEBOUR form. *albiflora* S. OHTANI: Form. nov.

Flores albae, notae ceterae similissime prae *Gentiana squarrosa* LEDEBOUR sunt.

Nom. Jap.: Shirobana-kokerindō (Nov.)

Hab.: Honshu, Prefect. Kanagawa, Himetsugi in Mts. Tanzawa; leg. Seirō KIGAWA (Maius, 8, 1960)—Typus in Herb. Mus. urb. Yokosuka.

127. テマリタマアジサイ

丹沢山 (林 弥栄 Aug. 15, 1955)

本品種の花序は全部一重の装飾花 (中性花) となる。

128. オオヤママルバウツギ

中郡伊勢原町, 大山 (林 弥栄 Jun. 5, 1958)

本品種は, 葉は長楕円形, または披針形で長さ 2.8~8.5 cm ある, ツクツクツギに似ているが, 質うすく巾は 1~3 cm。花その他の形質はマルバウツギにやや似ている。

129. ビロードコクサギ

足柄上郡山北町世附 (林 弥栄 Sept. 25, 1956)

本品種と基本種との相違点は, 1~2 年生枝に毛の多いことと, 成葉の葉柄と表面脈上とに白毛多く, 裏面全体にビロード状の白毛が密生していることである。

130. タンザワツリバナ

丹沢山 (林 弥栄 Jun. 10, 1958)

本変種は, 葉はいちじるしく小形で, 網脈顕著でなく, 薄質。花梗は短かく, 花数も少なく 2~5 花。果実, 種子ともにいちじるしく小形のものである。

131. バライロキヌタソウ

丹沢, 大室山 (林 弥栄 Jul. 18, 1956)

本品種はキヌタソウのパラ色の花を開くものである。しかし花の色だけの問題なら事実相当着色されているものがある。

132. モモイロタテヤマギク

丹沢山 (林 弥栄 Aug. 20, 1957)

これはタテヤマギクの舌状花が最初から終りまで桃色を呈する一品種である。

C. この項には, 種の同定中疑問が生じ, 今後の研究を要するものをあげる。

133. ユキザサ

丹沢, 蛭ヶ岳 (城川四郎 Jun. 9, 1960)

城川氏が上記のところで採取した本種は, 同氏がハルナユキザサかと指摘したものだが, 明らかに柱頭が浅裂しているのでハルナユキザサのように思われるが, 結論は今後にまつこととする。

134. テンニンソウ

丹沢, 姫次 (城川四郎 Aug. 24, 1960)

上記のところで城川氏が採取したものは本種とその品種であるフジテンニンソウとの中間の性質をあらわすものである。つまり中~下部の葉の裏面中肋上には開出毛があるが, 上部の葉 (この採取品では 5 枚の葉) の裏面中肋上には開出毛がないものである。

D. 神奈川県植物誌に記録してあるが, 単なる文献記録にとどまるか, または “過去に記録があるが再検を要する” としてあるもので, 最近その自生が確認できたものをこの項にあげる。

135. サカネラン

丹沢, 風巻岳 (城川四郎 Jun. 12, 1960)

城川氏は上記のところで, 昭和 33 年以来見ていたものである。本種は短かい根茎に太い短かい根が上向に叢生している。本県植物誌には「橘樹 (登戸), 箱根に採取記録がある」としてあるものである。

136. ヒロハノカワラサイコ

津久井, 青根 (城川四郎 Jun. 11, 1960)

本種は根葉の小葉がカワラサイコより少数で, 中裂し, 萼片は白綿毛のため帯白色をしている。

また副萼は萼片とほとんど同形である。本県植物誌に「逗子、大磯、伊勢原などで採集の記録があるが、再検討を要す」としてあるものである。

137. ミヤマムグラ

丹沢、姫次岳 (城川四郎 Jul. 7, 1960)

この城川氏の採取品を見ると、葉のふちに上向の刺がわずかにあるか、また無いものもある。葉は4枚が輪生しているが茎の下部では2枚対生している。長い葉柄があり、葉は卵形で何れも1脈が明瞭である。花はマバラで少数、花冠は白色で4裂する。花後小花柄は伸びて開出する。果実にはカギの刺毛がある。以上の特徴から見て本種にまちがいない。始め本県植物誌に「箱根、丹沢山、山北、大山など」と産地名があったが、その後、浅井康宏氏の同誌の合弁花植物門の訂正版では、同氏は“文献に記録はあるが再検の要あり”としている。少なくとも丹沢における自生は確認できたというものである。

E. この項には神奈川県植物誌に記録してある種で、追加を要する新産地のものをあげる。

138. オオキシノオ

逗子市、桜山 (佐藤 晋 Aug. 20, 1960)

139. イワヒメワラビ

横須賀市馬堀 (大谷 茂 Dec. 2, 1960)

140. クジャクフモトシダ

三浦郡葉山町大峰山 (寺島浩一 Jan. 6, 1961)

141. アツモリソウ

丹沢、姫次岳 (城川四郎 Jun. 12, 1960)

142. ミツバコンロンソウ

丹沢、大室山 (城川四郎 May 3, 1960)

143. オオカモメズル

丹沢、蛭ヶ岳 (城川四郎 Jul. 7, 1960)

144. アオホオズキ

丹沢、蛭ヶ岳 (城川四郎 Jun. 12, 1960)

城川氏は萼に長軟毛を認めないがイガホウズキではないか、としてあったが、これは明らかにアオホウズキである。ただアオホウズキは普通葉腋に1花を垂下して開くが、この採取品は2花ずつ垂下していて普通のものとはちがっている。しかしこのようなものを著者は箱根山で採取したことがある。

145. レンブクソウ

丹沢、ヤビツ峠～札掛 (西尾和子 May 3, 1960)

本種は神奈川県植物誌には(稀)として特に産地は記録してないが、その通りで本県の植物としては珍らしい部類に属する。ずっと以前には鶴見川の上流落合橋付近のメダケのある堤に自生していたのであるが、今日は絶滅してしまったようである。

Resume

Since the publication of "Florula Kanagawensis" in 1958, the author has annually reported supplemental knowledges to the florula in order to record a more accurate list of plants in the area of Kanagawa prefecture. This is a report of new knowledge collected after the last report. This report has four parts (A-D), and all specimens, except

part B, are kept in the Herbarium of the Yokosuka City Museum. The numbers of items are continued from the last report, and the detailed localities and collectors are shown in the round brackets.

Part A: The following species, varieties, and forms should be added to the florula.

106. *Struthiopteris castanea* (MAKINO) NAKAI (Kami-kawai, Hodogaya in Yokohama city Osao Deguchi)
107. *Calamagrostis pseudo-phragmites* (HALLER fil.) KOELER (Kurokura, Mts. Tanzawa; Mamoru Sasō)
108. *Polygonatum macranthum* (MAXIM.) KOIDZUMI (between Himetsugi and Kazamaki, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
109. *Epipogium dentilabellum* S. OHTANI et S. SUZUKI (Takatori-yama in Yokosuka city; Shigeru Ohtani) New found species of which detailed description is on pp. 37~44 in this magazine.
110. *Ephippianthus Sawadanus* (F. MAEK.) OHWI (*Hakoneaste Sawadana* F. MAEKAWA) (Hinokibora, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa and Mt. Ohmuro-yama; Shinji Tashiro)
111. *Goodyera Schlechtendaliana* REICHB. fil. forma *similis* (BLUME) MAKINO (Kazamaki-no-atama, Mts. Tanzawa; Kazuko Nishio)
112. *Platanthera ophrydioides* FR. SCHM. forma *australis* MAKINO (Hinokibora, Mts. Tanzawa; Kazuko Nishio and Kazamaki-dake, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
113. *Platanthera tipuloides* LINDLEY var. *nipponica* (MAKINO) OHWI (Ohtsu in Yokosuka city; Tomohisa Yamada)
114. *Fragaria nipponica* MAKINO (Himetsugi-dake, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
115. *Berchemia pauciflora* MAXIM. (Hiru-ga-take, (Hiru-ga-take, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
116. *Shortia soldanelloides* (SIEB. et ZUCC.) MAKINO (Shimosaku-zawa, west area of Mts. Tanzawa; Mamoru Sasō)
117. *Leucothoe Grayana* MAXIM. var. *oblongifolia* (Miq.) OHWI (Hiru-ga-take, Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
118. *Gentiana suquarrosa* LEDEBOUR form. *albiflora* S. OHTANI (Himetsugi in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa) This is white flowered new form of the species.
119. *Anodendron affine* (HOOK. et ARN.) DRUCE (insl. Saru-shima; Kōzō Hiyama)
120. *Clerodendron trichotomum* THUNB. form. *ferrugineum* (Nakai, pro var.) OHWI (Kakio in Kawasaki city and cape Manazuru in Ashigara-shimo-gun; Shigetaka Suzuki)
121. *Verbena bonariensis* LINN. (Uchikawa-shinden in Yokosuka city; Shigeru Ohtani) A naturalized species which is found newly in this prefecture.
122. *Clinopodium multicaule* (MAXIM.) O. KUNTZE (Hiru-ga-take in Mts. Tanzawa; Hiroshi Ishiwata)
123. *Lonicera Mochidzukiana* MAKINO (Koedo-zawa, Himetsugi in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
124. *Saussurea triptera* MAXIM. form. *major* (TAKEDA) OHWI (Hiru-ga-take in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)

125. *Taraxacum japonicum* KOIDZUMI (Kurihama in Yokosuka city; Shigeru Ohtani)

Part B: The following plants were found and named by Dr. Yasaka Hayashi in 1956 & 1958, from Kanagawa prefecture. In the round brackets are shown their type localities.

126. *Fagus japonica* MAXIM. var. *pleiosperma* HAYASHI (Aone-mura, Tsukui-gun in Mts. Tanzawa)
 127. *Hydrangea involucrata* SIEB. form. *sterilis* HAYASHI (Mt. Tanzawa)
 128. *Deutzia Sieboldiana* MAXIM. var. *Dippeliana* C. K. SCHM. form. *longifolia* HAYASHI (Mt. Ohyama)
 129. *Orixa japonica* THUNB. form. *velutina* HAYASHI (Yozuku, Yamakitamachi)
 130. *Euonymus oxyphyllus* MIQ. var. *microcarpus* HAYASHI (Mt. Tanzawa)
 131. *Galium Kinuta* NAKAI et HARA form. *roseum* HAYASHI (Mt. Ohmuroyama)
 132. *Aster dimorphophyllus* FR. et SAV. form. *roseus* HAYASHI (Mt. Tanzawa)

Part. C: Taxonomical decisions for the following specimens in this harebrium should be investigated in the future.

133. *Smilacina japonica* A. GRAY or *S. japonica* A. GRAY. var. *robusta* (MAKINO et HONDA) OHWI (Mt. Hiru-ga-take in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
 134. *Comanthosphace sublaceolata* (MIQ.) S. MOORE or *C. sublaceolata* S. MOORE form. *barbinervis* (MIQ.) MAKINO (Mt. Himetsugi in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa) The specimen is just intermediate form.

Part D: Following species and variety in "Florula Kanagawensis" were described as the plants which were recorded in old literature. Therefore the authors of "Florula Kanagawensis" doubted their existences in the year of the publication (1958). During the past year the author found that the following wild plants still exist.

135. *Neottia Nidus-avis* (LINN.) L. C. RICH. var. *manshurica* KOMAR. (Mt. Kazamaki-dake in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
 136. *Potentilla nipponica* TH. WOLF (Aone, Tsukui-gun; Shirō Kigawa)
 137. *Galium paradoxum* MAXIM. (Mt. Himetsugi in Mts. TANZAWA; Shirō Kigawa)

Part E: The following species and variety in "Florula Kanagawensis" should be added their localities.

138. *Plagiogyria euphlebia* (KUNZE) METT. (Sakura-yama in Zushi city; Susumu Satō)
 139. *Hypolepis punctata* (THUNB.) METT. (Mabori in the garden of the Yokosuka city museum; Shigeru Ohtani)
 140. *Microlepia marginata* (PANZER) C. CHR. var. *bipinnata* MAKINO (Ōmine-yama, Hayama, Miura-gun; Kōichi Terazima)
 141. *Cypripedium macranthum* SWARTZ (Mt. Himetsugi in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
 142. *Cardamine anemonoides* O. E. SCHUIZ (Mt. Ohmuro-yama in Mts. Tanzawa; Shirō KIGAWA)
 143. *Tylophora aristolochioides* MIQ. (Mt. Hiru-ga-take in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
 144. *Physaliastrum Savatieri* MAKINO (Mt. Hiru-ga-take in Mts. Tanzawa; Shirō Kigawa)
 145. *Adoxa moschatellina* LINN. (between Yabitsu-tooge and Fudakake in Mts. Tanzawa; Kazuko Nishio)

文 献

- 浅井康宏 1958: 合弁花植物 補遺 神奈川県植物誌: 118, 186.
榎本一郎 1960: ハコネラン 植物研究雑誌 35 (7): 218.
林 弥栄 1958: 日本産樹木新報知 (3) 林業試験場研究報告 (107): 27~32.
林 弥栄 1960: 日本産樹木新報知 (4) 林業試験場研究報告 (125): 67~78.
神奈川県教育委員会 1958: 神奈川県植物誌 8, 10, 74, 76, 108, 118, 170, 179, 186, 189.
北村四郎・村田 源・堀 勝 1957: 原色日本植物図鑑 草本編 (1) 合弁花類, 大阪 12~14, 24~28, 109, 112, 174.
大井次三郎 1953: 日本植物誌 東京 318, 1019.

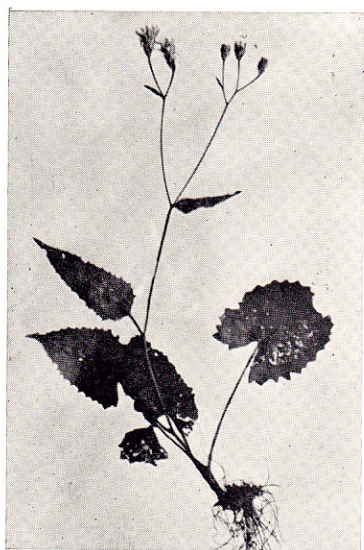


Fig. 1. ミヤマヒゴタイ 丹沢, 蛭ヶ岳
Saussurea triptera MAXIM. form. *major*
(TAKEDA) OHWI



Fig. 3. イワカガミ 西丹沢, 下柵沢
Shortia soldanelloides (SIEB. et ZUCC.) MAKINO



Fig. 2. ハナヒリノキ 丹沢, 蛭ヶ岳
Leucothoe Grayana MAXIM. var. *oblongifolia*
(MIQ.) OHWI



Fig. 4. ハコネラン
丹沢, 檜洞 *Hakoneaste*
Sawadana F.
MAEKAWA

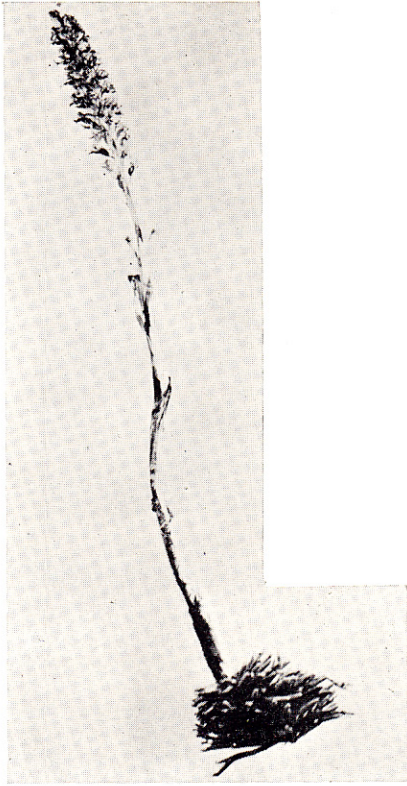


Fig. 5. サカネラン 丹沢, 風巻岳
Neottia Nidus-avis (LINN.) L.C. RICK.
var. *manshurica* KOMAR.

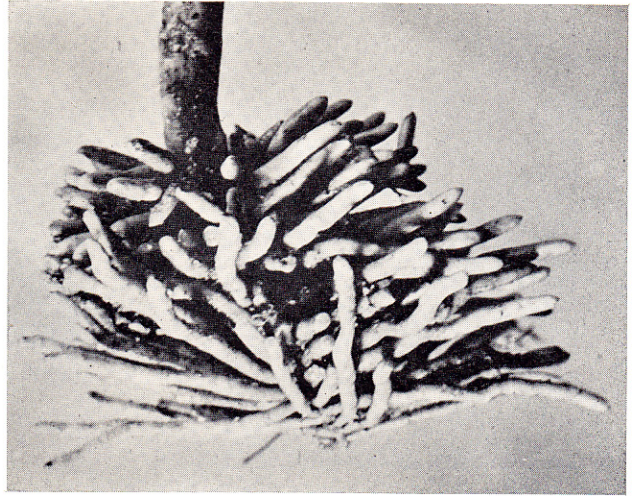


Fig. 6. サカネランの根部
Neottia Nidus-avis var. *manshurica*; enlarged root



Fig. 7. ヒロハノカワラサイコ 津久井, 青根
Potentilla nipponica TH. WOLF.

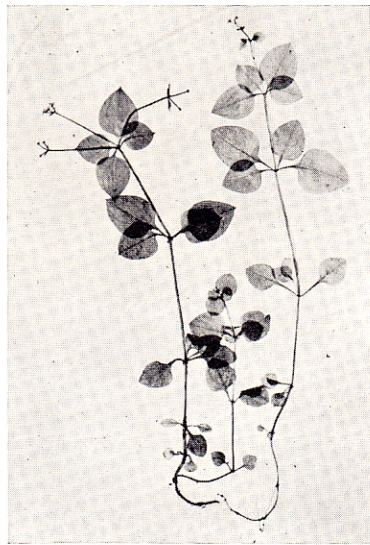


Fig. 8. ミヤマムグラ 丹沢, 姫次
Galium paradoxum MAXIM.